

Library Peer Times

2015年6月発行 第13号 (2015年度 第1号)

広島修道大学 図書館ピア・サポーター

2015年度図書館ピア、発進!

みなさん、こんにちは!これは図書館ピア・サポーターによる新聞です。今号は記念すべき今年度第1回目の発行ということでピア・サポーターの自己紹介を掲載することにしました。新たに活力溢れる数名が加わり今以上に図書館を利用するみなさんのサポートをしていきます。ピア・サポーターは通常M2階ラーニング・commons、2階フリーPCコーナー、3階サブカウンターに待機しています。「パソコンの使い方がわからない」「プリンターの調子が悪い」「本はどうやって探せばいいの?」等々、何かお困りのことがあれば全力でサポートしますのでお気軽にお声かけください。みなさんの大学生活を少しでもよいものにできるようにピア(仲間)としてがんばっていきます!(ピア・山根)

<p>①名前</p> <p>②所属・学年</p> <p>③好きな本</p> <p>④ひとこと</p>	 <p>自分を写真で あらわすと?</p>	<p>①池田 良太 (いけだ りょうた)</p> <p>②法学部法律学科4年</p> <p>③岩崎夏海『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』</p> <p>④みなさんが過ごしやすい空間づくりとサポートを全力でしていきます。</p>	
<p>①大出 利々 (おおで りり)</p> <p>②法学研究科国際政治学専攻1年</p> <p>③教育史料出版会『図書館は、国境をこえる—国際協力 NGO30年の軌跡』</p> <p>④ピアとして図書館に関わることができ、嬉しく思います。</p>		<p>①金 雪徽 (きむ そるふい)</p> <p>②法学研究科国際政治学専攻2年</p> <p>③水野敬也、長沼直樹の本</p> <p>④図書館には良い本がたくさんありますので、是非どんどん利用してください!</p>	
<p>①小西 菜奈 (こにし なな)</p> <p>②人文学部英語英文学科4年</p> <p>③中村航『ハミングライフ』</p> <p>④もっともっとみんなに愛される修大図書館にしています! ☆</p>		<p>①野村 勝翔 (のむら まさと)</p> <p>②法学研究科国際政治学専攻1年</p> <p>③井上ひさし『新釈遠野物語』</p> <p>④図書館を利用して、たくさんの本に手を触れてみてください!</p>	
<p>①蜂谷 啓祐 (はちや けいすけ)</p> <p>②法学部国際政治学科3年</p> <p>③東野圭吾『手紙』</p> <p>④本と音楽とサッカーが好きです。気軽にお声かけください!</p>		<p>①平本 梨恵 (ひらもと りえ)</p> <p>②人文学部人間関係学科社会学専攻4年</p> <p>③有川浩『図書館戦争』</p> <p>④お声がけすることもあると思いますが、よろしく願いいたします!</p>	
<p>①松山 幸恵 (まつやま さちえ)</p> <p>②法学部国際政治学科4年</p> <p>③東野圭吾『手紙』</p> <p>④色々な質問に対応し、もっと図書館の良さを伝えていきます☆</p>		<p>①山口 雄大 (やまぐち ゆうだい)</p> <p>②法学研究科国際政治学専攻2年</p> <p>③アガサ・クリスティ『ポアロ』シリーズ</p> <p>④わからないことがあれば、気軽に声をかけてくださいね。</p>	
<p>①山根 未希 (やまね みき)</p> <p>②人文学部人間関係学科社会学専攻2年</p> <p>③トーベ・ヤンソン『ムーミン』シリーズ</p> <p>④頑張ります。困った時は気軽に声をかけてください。</p>		<p>①山本 晃弘 (やまもと あきひろ)</p> <p>②人文学部人間関係学科社会学専攻4年</p> <p>③レイ・ブラッドベリ『華氏451度』</p> <p>④ピア勤務3年目!利用者の方最優先で頑張ります!</p>	

！！読書のすすめ！！

大学生のみなさん読書をしてください。
本の中にはあなたのまだまだ知らない世界が無限に広がっています。大学生である今、時間に余裕のある今、できる限り多くの本に出会って、触れて、読んで、考えてください。

読書によって期待される主な効果

- 多角的な思考が身に付く
- ストレスが軽減される
- コミュニケーション能力が養われる

(ピア・蜂谷)



ピア・サポーターおすすめ本

～テーマ「新入生にお勧めする本」～

5～6月編

- フランクル『夜と霧』
- 山本七平『空気の研究』
- 村上春樹『海辺のカフカ』
- 夏目漱石『こころ』
- 木村進『20代のうちに知っておきたい言葉のルール21』
- 松岡修造『人生を変える修造思考!』

2階入館ゲート付近に展示しています！

英語の絵本の多読をしよう！！

Q. 多読とは??

A. たくさんの本を読むこと。特に、最近では、「**英語多読法**」が注目されています。これは、**絵本のような簡単な英語の本**を読んで、英語力を身につける学習方法のこと。だから、**英語が苦手な人でも英語の本を読むことができます！**

・多読のポイント

- ①辞書を引かず、絵の情報などから文章を読みます。
 - ②本が面白くなければ、違う本をどんどん読み、楽しく学習することを心がけます。
 - ③細かい文法を学習する「お勉強」はしないように！英語を読み解きましょう！
- メリット：**英語脳を作ると同時に、たくさん本に触れることができます！！**



配架先⇒ 図書館：3階英語リーダーズまで

本の難易度も色で分かれているので、興味のある方は手に取って見てみてくださいね☆

(ピア・野村)

修大書庫あさり

図書館利用のみなさま、突然ですが、書庫に入られたことはありますか？

たとえ本をさがすとしても、たいていのものは3階にありますし、書庫に入るといことはあまりないのではと思います。

しかし、そんな普段陽の当たらない書庫にもいい本はあるものです。ここではそんな書庫に埋もれた本をあさって皆さんに紹介したいと思います。

今回取り上げるのは、宮本常一、山本周五郎、揖西高速、山代巴監修の『日本残酷物語』です。この本はシリーズもので、本の解説によると第一部が「人」、第二部が「空間」、第三部から第五部が「歴史」という区分となっています。

題名に「残酷物語」とあるように、書かれているのはさまざまな時代における貧しい人々の悲惨な歴史です。しかしながら、そうした苦難を描くからこそ、ここに出てくる人々は強烈な生々しさを持っています。また、彼らを通じて日本の歴史の新たな一面を発見できるのではないのでしょうか。

ということで、もし気になった方がいれば、ぜひ書庫に潜ってこの本を読んでみてください。もしかしたら新しい発見があるかもしれないですね！ (ピア・山口)